

第19回日本バレーボール学会総会報告

2013年度事業報告

1. 第19回大会の開催

▽期日：2014年2月15日(土)・16日(日)

▽場所：鹿屋体育大学

▽テーマ：「コーチング力を探る」

▽内容：

・特別講演Ⅰ

「コーチングの科学」

講師 福永哲夫(鹿屋体育大学学長)

・特別講演Ⅱ

「東京オリンピックへ向けての展望」

講師 羽牟裕一郎

(公益財団法人日本バレーボール協会会長)

・シンポジウム

「ナショナルチームのコーチング」

シンポジスト 徳永文利

(ユニバーシアード全日本男子監督)

中西康己(ユニバーシアード全日本女子監督)

・ワークショップ

「映像を使ったコーチング力の育成方法」

講師 高橋仁大(鹿屋体育大学)

「陸上競技におけるコーチングのための科学的サポート」

講師 松尾彰文(鹿屋体育大学)

・フォーラム

「バレーボール選手に多いスポーツ外傷・障害とその対応・予防」

コーディネーター 橋本吉登

(湘南東部総合病院)

話題提供者 板倉尚子(日本女子体育大学)

・一般研究発表 10件

・参加者 約200名

・総会

2. バレーボールミーティングの開催

▽期日：2013年8月18日(日)

▽場所：城西大学坂戸キャンパス

▽内容：

第24回埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会
共同開催

・シンポジウム

「効果的なコーチングを考える

～体罰・暴力の根絶をめざして～」

講師 森浩寿(大東文化大学)

松永敏(平成国際大学)

出井雄二(明治学院大学)

・オンコートレクチャー

「初心者(小学生・中学生)への効果的なコーチング」

講師 城成人(大阪堺市立宮山台小学校)

・参加者：約151名

3. 「バレーボール研究」の発刊および発刊準備、「ニュースレター」の発行

▽2013年6月30日付 バレーボール研究15巻1号発刊

原著論文2編, 研究資料6編

▽2014年5月1日付 バレーボール研究16巻1号の発刊準備中

▽2013年10月31日付 ニュースレターNO. 20発行

4. バレーボールに関する研究事業

▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

・日本バレーボール学会ホームページ上で公開中

(データ件数2,707件 2011-2013新規データ新規登録予定150)

全データ整備状況確認・600件整備中

データベース・フォーマット一部改訂中

2014年2月現在

▽調査研究補助

・「スパイクジャンプの踏切脚の特性について」

研究代表者：永田聡典

・「バレーボールの試合時の移動距離に関する研究」

研究代表者：山田雄太

5. 諸会議の開催

▽理事会

・第1回：2013年8月18日 城西大学 清光会館 会議室

・第2回：2013年11月9日 大東文化大学 大東文化会館

・第3回：2014年1月11日 大東文化大学 大東文化会館

・第4回：2014年2月15日 鹿屋体育大学 水野講堂小ホール

▽総会

・第19回：2014年2月16日 鹿屋体育大学 講義棟2階205教室

6. その他諸事業の実施

▽20周年記念事業「バレーボールの歴史(仮称)」本の出版準備

▽学会ホームページおよびメーリングリストの運用と整備(<http://www.jsvr.org>)

▽日本学術会議との連携

▽日本バレーボール協会との連携

▽日本コーチング学会との連携

2013年度 決算報告

1. 収入の部 (円)

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会費	1,500,000	1,807,835	@5,000×361名分 (過年度分を含む) 学生会員@3,000×7名分 (UC手数料-18165)
大会余剰金	0	94,459	第18回学会大会：34,173 第1回バレーボール ミーティング
広告費	200,000	50,000	アルケア
繰越金	3,421,023	3,421,023	2012年度より繰り越し
雑収入	1,000	13,753	預金利息・機関誌頒布
その他	0	0	
合計	5,122,023	5,387,070	

2. 支出の部 (円)

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会議費	500,000	163,000	会議お茶代・理事会交 通費補助
事務費	600,000	590,839	会費銀行振替関連経費、 振込手数料、事務用品、web リニューアル・web運営費等
通信費	200,000	99,420	宅急便・メール便
大会補助費	600,000	600,000	第1回バレーボール ミーティング：200,000 第18回大会：400,000
印刷費	150,000	0	封筒
機関誌発行費	650,000	646,800	バレーボール研究15巻1号 ニュースレター20号
委員会経費	350,000	133,156	編集委員会114,386・渉 外委員会0・企画委員会 18,770・総務委員会0
調査研究費	600,000	326,555	調査研究補助 300,000 歴史本プロジェクト26,555
予備費	1,000,000	54,113	香典・弔電等慶弔費
次年度繰越金	472,023	2,773,187	
合計	5,122,023	5,387,070	

以上御報告申し上げます。 2014年2月14日

日本バレーボール学会
総務委員会
委員長 田中博史 印略

証拠書類等を監査の結果、以上の報告に相違ないことを御
報告いたします。 2014年2月14日

日本バレーボール学会
監事 島津大宣 印略
藤島みち 印略

2014年度 事業計画

1. 第20回大会の開催
▽期日：2015年3月7日(土)・8日(日)
▽場所：早稲田大学
2. バレーボールミーティングの開催
▽期日：2014年8月17日(日)
▽場所：大東文化大学東松山キャンパス
▽テーマ：「一貫指導から求めるジュニア～ユース世
代の育成」
3. 「バレーボール研究」の発刊および「ニュースレター」の
発行準備
▽バレーボール研究16巻の発刊と17巻発刊準備
▽ニュースレター21号の発行
4. バレーボールに関する研究事業
▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と
運用
▽調査研究補助
5. 20周年記念事業の実施
6. 役員改選
7. 会員情報の管理と名簿の整備(会員名簿は隔年で機関
誌に掲載)
8. 公式サイトの管理・運営
9. 国際交流事業の推進
10. 諸会議の開催
11. 日本バレーボール協会との連携
12. その他諸事業の実施

2014年度 収支予算

1. 収入の部

(円)

項目	前年度予算	今年度予算	摘要
会費	1,500,000	1,500,000	@5,000×300名分(概数)
広告費	200,000	200,000	機関誌広告費
大会余剰金		0	
繰越金	3,421,023	2,773,187	2013年度より繰り越し
雑収入	1,000	1,000	預金利息・機関誌頒布
合計	5,122,023	4,474,187	

2. 支出の部

(円)

項目	前年度予算	今年度予算	摘要
会議費	500,000	500,000	諸会議経費・理事会主要役員会交通費補助
事務費	600,000	600,000	会費銀行振替関連経費、振込手数料、事務用品、web運営費、HP管理費(業者委託)
通信費	200,000	200,000	郵送費、宅急便代等
大会費	600,000	600,000	大会、バレーボールミーティング等の開催経費(大会400,000・バレーボールミーティング)
印刷費	150,000	150,000	学会封筒・資料等の印刷費
機関誌発行費	650,000	650,000	「バレーボール研究16巻1号」発刊・ニュースレター発行
委員会経費	350,000	350,000	総務、渉外：各50,000、編集150,000、企画(文献データベース作成事業を含む)100,000
調査研究費	600,000	600,000	調査研究補助費、プロジェクト研究補助費
予備費	1,000,000	500,000	国際会議準備費等
次年度繰越金	472,023	324,187	
合計	5,122,023	4,474,187	

事務局だより

先日、鹿屋体育大学で開催された第19回研究大会では、関東など広範囲で大雪に見舞われ、かなりの飛行機が欠航したため、残念ながら多くの方々が参加できない状況となってしまいました。シンポジウムの中止など一部のスケジュール変更を余儀なくされましたが、濱田実行委員長をはじめとしたスタッフのご尽力により、参加者が満足する2日間の研究大会を開催することができました。特に、急遽開催されたキャンパス・ツアーでは、鹿屋体育大学が誇る多くのスポーツ施設を見学でき、情報交換会では、初の着席スタイルで、鹿屋の美味しい食事とお酒を交えながらじっくりと会員間の交流を深めることができました。

さて、2014年度の主な学会事業はバレーボールミーティングと第20回研究大会です。8月の「2014バレーボールミーティング」は、大東文化大学東松山キャンパス(埼玉県)にて「一貫指導から求めるジュニア～ユース世代の育成」をテーマに開催します。2020TOKYOオリンピックをひかえ、皆さんと一緒に、より良い指導を模索していく所存です。詳細につきましては学会HPの要項をご覧ください。多数のご参加をお待ちしております。また、3月には、早稲田大学(東京都)にて第20回記念研究大会(仮称)を開催予定です。このような学会活動におきましては、会員の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。積極的に参加いただくとともに、学会の活動に多くのご意見をいただければ幸いです。

住所変更・所属変更があった場合は、学会HPの登録情報変更フォームより送信して下さい(「学会概要」→「入会のご案内」→「入会手続きはこちらから」→「登録種別」→「所在変更」を選択後、必要事項を入力)。また、機関誌・ニュースレター等が届いていない場合は、事務局までご連絡頂ければ幸いです。